



社会医療法人近森会

発行 ● 2011 年 1 月 25 日

びるっば

2

Vol.295

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目 1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

近森病院

DMAT (災害派遣医療チーム) の活動

近森病院救急部科長 井原 則之



APEC で東京への途次、富士山の見える場所で



APEC で出動した大津日赤のドクターカーと東京消防庁の救急車と共に

かけ、APEC (アジア太平洋経済協力) 首脳会議が横浜で開催されましたが、この開催期間中、テロなど災害に対する備えとして全国 18 の病院から選抜された DMAT が集まり現地の災害医療体制の構築を行いました。

近森病院の DMAT は開催 2 日前にドクターカーで出動し、東京国際空港 (羽田) に 5 日間詰めて各国首脳が空港に到着、帰国する際の対応に従事しました。化学テロが起こった際の防護服や解毒



自衛隊の輸送艦「くにさき」の艦上で薬を病院からドクターカーに満載し、約 1000km の道のりを走り羽田空港

救急医療と災害医療は表裏一体

当院は 2009 年 9 月に災害拠点病院の指定を受けました。これは万が一災害が発生した場合の医療対応できる設備と能力を認められたものです。近森病院ではこれより以前から、救急医療と災害医療は表裏一体であるとの考えから災害に対する備え、対応を進めています。

この災害医療活動の一つとして DMAT (Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム) があります。近森病院では 4 年前から配備を進め、現在 15 名の医師、看護師、調整員 (救急救命士、事務職員) が隊員登録し、災害急性期に現場で活動できる体制を整えつつ訓練を行っています。ここでは、私たち DMAT が行っている最近の活動のいくつかをご紹介します。

APEC 首脳会議の備えとして

平成 22 年 11 月 13 日から 14 日に

大晦日の臨終



近森 正幸

昨年の大晦日、肺炎を患ったお年寄りが亡くなった。十年ほど前、脳内出血や大腿骨を骨折したことで寝たきりになり、これまでも何度か感染症を繰り返していたが、今回は肺炎で当院に運ばれてきた。ご家族も今度ばかりは覚悟を決めておられた。

高齢社会となり、臓器不全を伴ったお年寄りの患者さんが病院に急増している。急性期病院としては救命のために出来る限りの医療を尽くすのが本来だが、89 歳と高齢であることや、寝

たきりになって 10 年にもなり、ターミナルな状態であることを考えて、いろいろな処置をせずに静かに看取ることとなった。挿管したり、人工呼吸をすることで、却って本人は痛い思いをし、苦しみを長引かせることになる。できるかぎりやすらかに最期を迎えさせてあげたいという家族や主治医の思いがあった。

この患者さんの家は商売をしていて、暮れといえば一年でいちばん忙しい時期に当たる。すでに一線を退いているとはいえ、ちょうど忙しさも一段落した大晦日に息を引き取り、正月の三日で通夜、葬儀を済ませた。家族にもっとも迷惑をかけない時期の臨終であったことを考えると、家族を思いやる母の最期であったように思う。

人間としてどのような最期を迎えさせてあげれば本人のためになるか、医師として考えることは多い。このご婦人は、痛みもなく苦しい思いもせずに、ローソクの火が消えるように静かに息を引き取られた。

理事長・ちかもり まさゆき



輸送艦に着艦しようとする自衛隊ヘリ

た。高知沖に海上自衛隊輸送艦「くにさき」が出動し、近森病院 DMAT は輸送艦に入って、県防災ヘリで運ばれてくる重傷者の受け入れを行い、さらに自衛隊の大型ヘリに4名の重傷者を乗せて被災地外に運び出す訓練を行いました。自衛隊と協力して行う訓練の機会は少ないなかで、南海地震発生時にも実際に役に立つ、いい訓練ができました。



自衛艦の医務室で打ち合わせ

く、病院内の整備や活動も進めています。特殊な災害として、CBRNE 災害というものがあります。これは、化学 (Chemical)、生物 (Biological)、放射性物質 (Radiological)、核 (Nuclear)、爆発物 (explosive) によって起こる災害です。こういった災害での患者さんを受け入れるための除染テントや薬剤、防護服などの整備も県や他の病院と協力しつつ進めています。

に到着。全国から集まった警察が何重にも空港周辺で検問警備を行い、空港ターミナル内でも警察官が多数配備され、日常の空港景色とは異なる雰囲気の中、アメリカ、中国、ロシアなど延べ22カ国の到着、そして出発を見守りました。幸いにもテロなど災害は起こらず、任務を無事に終えてきました。

自衛隊と協力しての訓練

10月22日、高知市にて中国四国ブロックの緊急消防援助隊の訓練が高知新港周辺で行われまし



輸送艦上で自衛隊との活動打ち合わせ

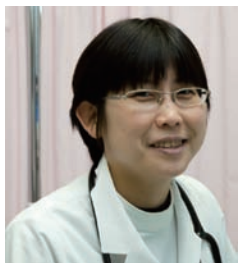
自衛隊と協力しての訓練

病院の外に出て行くだけではな

最新の知識、技術を取り入れて

まだこれからやるべきことも多い段階ですが、最新の知識、技術を取り入れつつ、日本に誇れる災害医療体制を近森病院に築いていきたいと考えています。

ちょっと気になる話題の治療法 7 消化器外科



低侵襲の腹腔鏡下消化管手術 ～メリットとデメリット～

近森病院消化器外科科長 坪井 香保里

腹腔鏡下消化管手術は、1990年に腹腔鏡下胆嚢摘出術が日本に導入されたから20年が経過しました。

腹腔鏡下手術では、おなかを炭酸ガスで膨らませて(気腹)空間を作り、カメラで観察して操作します。腹部に5～12mmほどの穴を4～5カ所あけてカメラや電気メス、鉗子などを入れ、モニターを見ながら操作するため、通常の開腹手術よりも小さな傷ですみます。

最大の特徴は「低侵襲」。傷が小さく、創部痛が軽度で早期離床が可能です。また、腹腔内が空気にさらされにくく、術後の腸蠕動が早く、早期食事開始や、癒着もしづらく、入院期間短縮、早期社会復帰が可能です。術者側としては、カメラが近接することで拡大効果が得られる点などがあります。

一方、気腹が悪影響を及ぼすこともあります。①横隔膜を押し上げ肺拡張不良の原因、②血中炭酸ガスの上昇から血中酸素濃度低下や不整脈の原因、③腹腔内が圧上昇し、血液循環の悪化や静脈血栓症、肺塞栓の危険性など。

心肺機能低下のある方には十分検討して適応を決める必要があります。また、過去の手術で高度の癒着が予想される場合、腹腔鏡手術が選択されないこともあり、術中に開腹術に切り替える場合もあります。

近森病院でも腹腔鏡下胆嚢摘出術をはじめ、大腸切除、胃切除、十二指腸潰瘍穿孔などの手術を行っております。患者さんの背景や病気の進行度の問題もあり、胆嚢摘出術以外はまだ症例が少ないのですが、これから増やしていきたいと思っております。

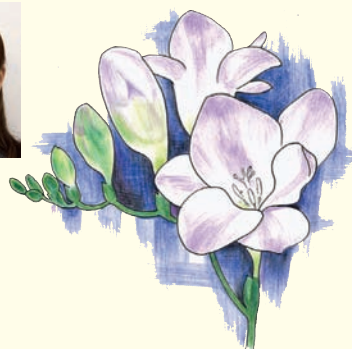
2月の歳時記 フリージア

絵・総務課広報担当 公文幸子

管理部経理課 伊藤 多喜子



フリージアという名前は19世紀のヨーロッパの医師、フレーゼにちなんだものといわれています。花の香りにはハッカに似た成分が含まれているため、鎮静効果があるそうです。寒くて部屋にこもりがちな季節ですが、フリージアを飾って気分をリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。



チーム医療のキーパーソンとしての役割とは？

近森病院看護部長 久保田 聡美



昨年から厚労省の各種審議会で、「チーム医療」推進に関して議論されています。「チーム医療推進」に関しては、先駆的取り組みを続けてきた当院からも、理事長はじめ検討会やWGに参加しています。

そこでの基本的な考え方として、チーム医療とは「医療に従事する多種多様な医療スタッフが、それぞれの高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携、補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」とされています。

看護師は、「チーム医療のキーパーソン」として患者や医師、その他の医療スタッフから寄せられる期待は大きいとされています。そのような背景を意識しながら、当院の退院調整の現場に目を向けてみます。

かつて、退院調整といえば、医療相談室と退院調整ナースに依頼しておしまいという状態でした。病棟側はどちらかといえば受け身的であったように思います。2年前から各病棟で定期的にカンファレンスをもつようになって徐々に変化がみられました。

いちばん変化したのは、病棟の師長達です。当初は、私からの厳しいチェックが入るために事前準備にも随分時間をかけていたようですが、最近では常に退院後の生活を視野にいたれた問題点が自然に整理されてきています。たと

えば、ある患者さんの退院困難要因が食事の摂取量であれば、傍にいる管理栄養士やSTといった医療スタッフを巻き込んで議論し、時にはベッドサイ

ドについてアセスメントしながらのカンファレンスが展開されています。

議論の内容もお互いの専門性を尊重しながらも、「もともと摂取量も少なかった方ようだし」とか「経口摂取にこだわるのが果たしていいことなのか」といった、患者さんの個別性に目を向ける視点が素敵です。

そんな師長たちの動きが、まさに「チーム医療のキーパーソン」としてさらに輝きを増すように支援していきたいと思います。

Chikamori ★ Kitchen 第8回のメニューより

黒酢をつかった酢豚

今月は第8回のメニュー、酢豚を紹介いたします。ポイントは「黒酢」を使っていること。一般の穀物酢で作るのとは比べて、まろやかな味わいに仕上がりと、酢豚の酸味が苦手という方にはオススメです。また黒酢はアミノ酸が豊富で、中でも9種類ある必須アミノ酸の多くを含んでいます。食事の偏りが気になる方は、黒酢を料理に取り入れてみてはいかがでしょうか。

必須アミノ酸とは・・・体の中で合成できないアミノ酸で、食べ物から摂取する必要があります。

●材料 (1人分)

豚もも薄切り肉	100g
醤油・酒	各大 1/2
とき卵	1/4 個
片栗粉	適量
たまねぎ	50g(小 1/2 個)
ピーマン	1/2 個
にんじん	15g(1 かけ)
干しいたけ	1 枚
サラダ油	大さじ 1 弱

●調味料

砂糖・醤油	各大さじ 1/2
ケチャップ	小さじ 1/2

臨床栄養部管理栄養士
主任 内山 里美



顆粒鶏ガラだし 小さじ 1/2
黒酢 大さじ 1

●作り方

①豚肉は醤油・酒で下味をつけ、1枚ずつ軽く丸め、とき卵をつけ、片栗粉をまぶす。干しいたけは水につけておく。②たまねぎとピーマンは2cm 各に切る。にんじんは薄いいちょう切りにし、干しいたけは軸を除いて4等分に切る。③フライパンを熱し油を少し残して入れ、豚肉を入れ、火が通るまで焼き、いったんとりだす。④残りの油で野菜を炒め、焼き色がついたら③を戻す。⑤調味料を加え、煮立ったら、黒酢を回し入れる。

お知らせ

- 第81回地域医療講演会医療安全セミナー「知っておこう、ハイリスク薬のポイント！ーインシデント、アクシデント報告からー」

日時 平成23年2月5日(土)
9:00～11:00 高新文化ホールにて

- 第82回地域医療講演会「統計の見方・初級編ー超ダイジェスト

研究テーマと統計の使い分けー」
講師 高知女子大学看護学部助教
井上正隆先生

日時 平成23年2月21日(月)
18:30～
近森病院管理棟5階東会議室にて

- 第4回高知赤十字病院、近森病院合同パス大会

テーマ：高知赤十字病院「腹腔鏡下／後腹膜鏡下腎手術クリニカルパス」
近森病院「多職種による脳神経外科クリニカルパスのかかわり」

日時 平成23年2月26日(土)
9:00～12:00
コンフォートホテル高知駅前にて

- 第83回地域医療講演会「作法としての『生老病死』ーみなで医療をよくするためにー」
講師 社会医療研究所所長
岡田玲一郎先生

日時 平成23年2月26日(土)
14:00～16:00 高新RKCホールにて

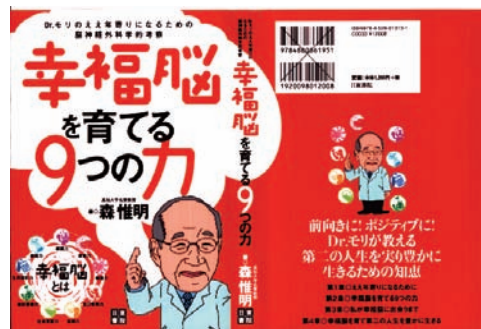
献血のお願い バレンタイン献血(2日間)

2月9日(水)、10日(木)
12:00～17:00

近森病院 新館総合受付にて

『幸福脳を育てる9つの力』 発刊のご紹介

高知大学名誉教授 森 惟明



長年、配信して参りましたメールマガジン「セカンドライフ支援講座」をこの度、日東書院から書籍化し、発刊していただくことになりました。

私自身、これまでに本書のような出版を試みたことはなく、はじめての「人生論」、「人間学」に関する渾身の一冊で、人生の締めくくりのつもりで執筆致しました。ご高覧賜れば幸甚に存じます。なお、発刊は平成23年2月15日の予定です。

本書では、特に高齢者ならびにその予備軍の方々を対象に、次のような内

容につき執筆致しました。

- ただ単に幸せに生きたいと思うだけでは、幸せには生きられません。

- 幸せに生きるためには、「幸福脳」を育てなければいけません。

- 「眠れる九つの力」を呼び覚ますことにより、「幸福脳」を育てることができます。

なお、本書は全国主要書店で購入できますが、高知県では金高堂書店のほか主要書店でご購入して頂ければ幸いです。アマゾン (<http://www.amazon.co.jp/dp/4528013134/>) からご購入いただけます。

もし、本書の内容に共感頂けるようでしたら、知り合いの方々にも、ご紹介頂ければ嬉しいです。出来れば、読後の感想をお寄せ頂ければ幸いです。

平成23年2月15日

E-mail: morik@i-kochi.or.jp

◆院内引越しスケジュール◆

- 1月15日 健康管理センターが、管理棟完成(4月)まで、現管理棟4階図書室へ仮移動中です

内線 6322 FAX. 3043

へお願いします

- 2月26日(予定) 本館8階健康管理センター跡へ、「(仮)細菌・病理検査室」を移動

- 3月15日(予定) 現管理棟東側の、会計事務所を解体

私の趣味 皆で走ろう!

近森病院内科科長
市川博源



向かって左、白い帽子が筆者

11月14日(日)に土佐郡土佐町の第26回さめうらの郷湖畔マラソン大会(11km・6km)に総勢13人で参加しました。メンバーはマラソン大会初参加者、フルマラソン経験者、元陸上部員など様々で、また職種も様々でした。

まだ暖かい日差しのなか、紅葉のきれいな湖畔周辺を気持ちよく13人が駆け抜けました。個々がランニングを楽しむメンバーで、これまでは飲み会がメインの集団でしたが、実際皆で走ろう! という飲み会での勢いそのままに13人全員が完走しました。

夜の部では今回の反省や次の目標などを語り合い、いつも以上に盛り上がりました。

一緒に走る仲間を随時募集しておりますので、興味のある方はいつでも声をかけてください。

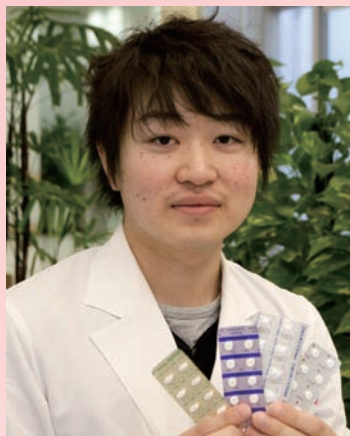
よき友くすし

8



「催眠薬と不眠について」

近森病院薬剤部 中野 克哉



に合わせて催眠薬を選択します。例えば入眠困難型には短時間で作用する催眠薬、中途覚醒・早朝覚醒には睡眠状況に合わせて作用時間が長い催眠薬を選択したりします。

長期連用した場合は中止が難しくなるケースがありますが、その場合は徐々に減量したり、中止をした後の反跳性不眠(服用前より強い不眠が現れる現象)が少ない長時間作用型の催眠薬に変更しながら、中止するという方法があります。また新しい催眠薬で、睡眠に関与するホルモンであるメラトニンと同じ作用をして、自然睡眠を誘導し中止しやすく副作用が少ない催眠薬もあります。

不眠が続く際はうつ病などの前兆の可能性もありますので、つらい時は我慢せずに専門医へ相談しましょう。

ストレスや交代制勤務の影響により不眠で悩んだりしてはいないでしょうか? 催眠薬といえば使用に抵抗を感じる方がいるかも知れませんが、最近の催眠薬は適切な使用法、用量を守れば比較的安全とされています。

不眠にはタイプがあり①入眠困難型(寝つきが悪い)②中途覚醒型(途中で目が醒める)③早朝覚醒型(朝早く目が醒める)④熟眠障害型等(ぐっすり眠れない)があげられ、不眠のタイプ

タンザニアへ2年間の赴任

Hamjambo? ハムジャンボ? (こんにちは)

「Mimi ni Mtaalamu wa Tibamaungo.

ミミ ニムターラム ワティバマウンゴ (私は理学療法士です)」

Jina langu ni Yashio Murakami.

ジナラング ニヤシオ ムラカミ (私の名前は村上野志夫です)

Nitakwenda Dodoma katika Tanzania.

ニタクウェンダ ドドマ カティカ タンザニア
(タンザニアのドドマに行きます)

近森リハビリテーション病院地域支援部

訪問リハビリテーションちかもり理学療法士 村上 野志夫



近森病院に就職して6年目になります。学生時代から憧れていたのは海外で働くことでした。その夢を JICA (Japan International Cooperation Agency: 独立行政法人国際協力機構) の青年海外協力隊 (Japan Overseas Cooperation Volunteer: JOCV) という形で実現することができました。

このたび、近森病院から現職参加という形で2年間活動することを許可していただきました。赴任先はタンザニアの首都ドドマにあるドドマ州立病院です。

近森会では近森病院、近森リハビリテーション病院、訪問リハちかもり、と急性期から維持期まで幅広く経験させていただきました。働くなかで人々が地域で生活することの大切さ、そこに携わることのできるリハビリの可能性の広がり、仕事の面白さを知ることができました。それにより、この6年間で、海外でリハビリをすることや、ボランティアをするという思いが、益々強くなりました。

タンザニアでは現地の人々とともに生活をして、僕がタンザニアの文化や風習、人々を受け入れるのではなく、僕自身が受け入れられるように、関わる人々の生活を見て、感じ、話し合いながら、信頼関係を築いていくことを大切にしたいと思います。そして日本のことや近森病院のことを伝えていきたいと思っています。

タンザニアは東アフリカの赤道直下、南半球に位置する国です。東アフリカで最も政治的に安定した国の一つといわれています。人口は4,300万人、国土は日本の2.5倍、母国語はスワヒリ語です。有名なものとして、アフリカ大陸最高峰のキリマンジャロや、国立公園のサファリツアー、キリマンジャロコーヒーなどがあります。

最後に現職参加を認めて下さった近森理事長、川添管理部長に感謝の意を表します。そして、快く送り出してくださった地域支援部小笠原部長を始め、リハビリスタッフの方々、本当にありがとうございます。2年後、ひとまわり成長した姿を見せられるように

がんばってきますので、帰ってきた時には、またよろしくお願いします。

それでは行ってきます!

Tutaonana tena!

トゥタオナナ テナ

(また会いましょう!)

リレーエッセイ

高額商品マイホーム

近森病院医事課 松本 圭司



前職を退職して2年が経過。心機一転他業種にチャレンジすることを決め、一昨年に就職しました。今までは不動産・建築業界で働いてきましたが、今は医療の知識をつけるために必死の毎日です。

大学を卒業して数年「知らぬは損だなあ」ということを日々実感しています。

今までの経験や知識の中からマイホーム購入にあたって、僕が考えるポイントをご紹介します。

住宅購入の際、まず悩むのが建築メーカー選びだと思います。選別するポイントとして①コスト面②デザイン面③構造・工法・耐震性・耐久性④間取りなどのプランニング⑤業者の信頼性や保証面、アフターサービスなど色々あると思います。

家族で優先順位を話し合い、自分達にあったメーカー選びをお勧めします。各メーカーには特徴がありますので、事前にメーカーの特徴をつかんでから相談・見学をしてみてもいいでしょうか!

何の情報もなく多数のメーカーに

見学にいくとすごく悩んでしまったりして大変だと思います。基本的に営業マンは良いことしか言いませんからね～。悩み疲れなどで住宅購入をやめたり、延期した人もいるみたいですし……。

個人的な意見としては、良い担当営業マンとの出会いが結構重要だと思いますよ! 後は建築予定地に適した(間取りや構造面などの)プランニングができるメーカーってのもポイントですね。

コスト面では単純に坪単価だけでの比較はやめたほうが……。高いものには高い理由が、安いものには安い理由がありますからね!

人生の中で最大のお買い物とされる住宅購入なので、特に情報収集は大切です。たいへんなことも多いですが、楽しいことも多いです! みなさんが理想とする夢のマイホーム購入ができることを祈ってます。

チュニジア革命に 遭遇して

近森病院心臓血管外科部長 入江 博之



観光らしい観光は初日の半日だけだった



現地ガイドさんがこわばった表情で入ってきました。添乗員の小田さん(名鉄観光高知支店長)に何事か耳打ちすると、小田さんはスッと立ち上がり「これから空港に行ってきます」と言って、始まったばかりの昼食を置いて飛び出しました。この迅速な行動のおかげで、わずか1日の遅れで全員無事帰国することができました。

2011年1月12日から18日にかけて、職員旅行チュニジア班だった私たち17名は、反政府デモから革命に転じた現地で過ごしました。

チュニスへ到着した初日の宿泊予定先は、のちに衝突が激しかった市中心部にあるホテルでした。通り(右上写真)には軍隊や警察官がずらりと並んでいましたが、同日午前の段階ではまだ歩いている市民も見られ、短時間だけ近くを観光しました。その後、危険を避けるため郊外のホテルに移動したのを最後に、足止めが続きしました。

翌14日には非常事態宣言が発令され、15日にはベンアリ大統領が国外へ亡命、首都チュニスで発砲事件が多発しました。待機を余儀なくされたホテルでは警備員が出入りを規制していました。食事は野菜や果物が日に日に少なくなっていき、17日の朝食ではパンも不足する状況にまで至りました。

非常事態宣言とともに米国、ドイツ等は首相が「自国民保護の為に救援機を派遣する」とテレビで言っていました。一方日本は外務報道官が「情勢を見守る」と発言しただけでした。現実には、早速翌日にはヨーロッパ多国の救援機が飛来したと報道がなされてい

ました。その日からホテルではヨーロッパ系の人たちが次々と出国し、日本人観光客の比率が高くなり、寂しい思いをしていました。

いつ帰国できるかわからない不安のなか、梶原統括看護部長が「何とか観光に行けないだろうか」と提案し、皆から「さすが!」と感心されていました。

毎日することのないホテルライフのなかで、昼食中に突然、空港カウンターが開いたとの情報が寄せられたのでした。出国当日、空港へ通じる道路はタクシー、バス及び一般車が走り、ガソリンスタンドも営業中、スーパーにはトラックが横付けされていました。住民自警団と見られる人たちの検問は見られず、道には女性たちが歩く姿も見られ、情勢は沈静化しているように感じられました。

空港では、出発フロアのドアが閉じられ、到着フロアからも出られないようにバリケードが築かれており、自動



▲前方の門から奥は閉鎖された

小銃を持った兵士たちが道路を塞ぎ警戒に当たっていました。チェックインカウンタは熱気に満ち、セキュリティチェックポイントを越えるまで、空港内はバーゲンセール会場の様な混み具合でした。

インターネットが使用可能であったため、iPhoneが情報収集にたいへん便利でした。浜重、川井両先生もスマートフォンの購入を決意されました。残念ながら世界遺産を一箇所も見学することはできませんでしたが、他国の革命という歴史的タイミングで日本を見つめなおす機会が与えられたことは、貴重だったと思います。

皆様にご心配をお掛けしたことを、この場を借りておわびいたします。

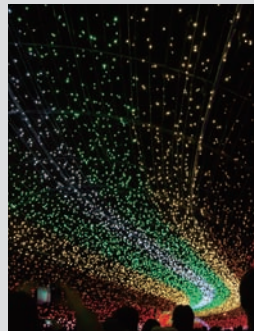
職員旅行 (ウィーン、屋久島、なばなの里)



▲1400年に完成したプラハ最古の石橋カレル橋



▲プラハの一度は入りたい「ウ・カリハ」



▲空に光のホワイトイルミネーション(三重県にある「なばなの里」)



▲「なばなの里」のベゴニアガーデン
▶雨に煙る屋久島の縄文杉の前で



オンもオフも、 バランス感覚重視で

手術の醍醐味とジレンマ

ちょっとシャイだから、ひょうきんそうに振る舞う。優しさを素直に表現できない部分もあるが、胸に秘めた熱い情は思わずこぼれてしまう。だから、整形スタッフが選ぶ主治医になってもらいたいドクターのNo. 1になる！？ 周囲の声を集めるとこんな感じになりそうだ。

ウイークデーは、外来担当の火曜日を除き、毎日手術室にこもっている。黙々と職人技に挑むには、体力気力とも常に全力を出し切れる状態が求められる。「外傷ならできるだけ元の100%の状態に近づけたいし、その100%を目指すのが手術の醍醐味でもあり、同時にジレンマでもある」と語る道中部長にとって、手術は大きな比重を占めている。

衣笠清人統括部長に、「あと30分頑張れば、患者さんのその後の人生が違っ

てくる」と言われる言葉を常に意識し、あと一息、もう少し！と頑張るし、これ以上は限界だと判断すれば、「一刻も早く撤退するという引き際が肝心」ともいう。だからそのバランス感覚が常に求められるというのである。

きっかけは350円の学食弁当

道中部長の手術談義は尽きないが、この道のそもそものスタートは、外科系で手術をやっていきたくと思っていた学生時代。恩師の教授から350円の学食弁当を食べながら誘われたことがきっかけだった。

「バラバラだったものが元に戻る達成感」は何ものにも代え難いし、「出来上がりのレントゲン写真を眺めながらニヤニヤしている医者は（ボク以外にも）いっぱい居るのでは…」と嬉しそうだ。整形外科医師12人の大規模チームにおいて、「皆の方向性が一緒だから、自分のやりたいことが無理なくできる幸せ」も常に味わっている。

それにも増して部長が恵まれているのは、「ボーッと家のソファで寝転がっているのがいちばん寛げる瞬間」だと、家族への愛情に溢れる愛妻家である点だろう。ストレス解消法を敢えて見つける必要がないのだ。仕事で一気に緊張感を高め、それを持続した全力投球が可能になるのも頷ける。

海に馴染めるダイビングを趣味に

職員旅行では趣味のダイビングができるような企画を年に一度立てさせてもらっている。せっかく高知に来たのだから海に馴染める何かをと、大学の卒業旅行で行ったハワイでダイビングのライセンスを取った。

近森会に勤めて7年、職員旅行ではダイビングに挑戦している。腕があがると自分の肺を浮き袋のようにコント



手術中、真剣な表情の道中部長。普段は「ひょうきんな写真ばかり」（津野直子秘書）だとか

ロールして、海中で静止できるようになる（これを「中性浮力」が取れるというそう）。それで、水中写真を撮る趣味もダイビングに付随するようになった。

ダイビングに付随した水中写真で理事長賞

近森会グループの写真展で理事長賞に輝いた道中部長の水中写真をご記憶の方も多いのではないだろうか。ただし、写真を撮る行為そのものよりも、海中であることに興味を引かれるそうだから、今後とも写真作品は水中物に限られる見込みである。

バランス感覚を忘れたくない

故郷は少林寺拳法の聖地香川県多度津町で、拳法の修行者専門の旅館の一人息子として生まれ育った。一人っ子独特の甘えん坊の部分があるといわれるが、拳法で養った自制心や独立心は、陰に陽に今日の部長の責任感や情熱に影響を与えているのではないだろうか。

髪型が少し変わっただけでも、すぐ「あ！今日は雰囲気が違う！」とスタッフを喜ばせる細やかさと、術中に求められる決断力。「仕事中でも仕事を離れても、常にバランス感覚を忘れたくない」。部長は常に自分に言い聞かせている。

「ダイビングの楽園」と云われるパラオ共和国は日本のほぼ真南3千キロの太平洋に浮かぶ300以上の島々の国。職員旅行で水中カメラを手



笑いあえる関係

ファミリー高知
障害者福祉サービスセンター
ウェブ
職業指導員 永野 剛



右から二人目の腕白がボクです



小五の時にラグビーのチームメイトと撮った写真です。この頃は試合でほとんど負けた記憶がないぐらい強く楽しいチームでした。

現在の就労支援に携わる中で、当初どのようにして利用者をまとめていこうか悩みました。そこで思いついたのが「チーム作り」です。日頃から利用者に「協力」することの大切さを教え、結束力を高めていき、今では協力する姿勢も見られるようになりました。利用者とも笑いあえるチームメイトのような関係でありたいと思っています。

にしの内科クリニック 循環器・心臓内科

●高知市百石町二丁目 29-16
Tel 088-855-5524



西野 潔院長

私は医師になって約20年になりますが、2年間の南極暮らしを除くと、ずっと急性心筋梗塞や急性心不全を代表とする循環器の救急医療に携わってきました。重症例の治療は大変です。日々、重症になる前の治療（一次予防）や、重症例の再発の治療（二次予防）の大切さを身にしみて感じてきました。それでかかりつけ

医として心血管疾患の一次予防、二次予防を行っていきたいと思立ち、開業に至りました。かぜから心臓病までみれるかかりつけ医として、頑張りたいと思います。



明るく開放感いっぱいの診察室で。昼休み当番のスタッフと

風邪から心臓病まで、総合的な内科クリニックを目指しています！

と、ずっと急性心筋梗塞や急性心不全を代表とする循環器の救急医療に携わってきました。重症例の治療は大変です。日々、重症になる前の治療（一次予防）や、重症例の再発の治療（二次予防）の大切さを身にしみて感じてきました。それでかかりつけ

月	火	水	木	金	土	日
09:00 ～ 12:30	09:00 ～ 12:30	09:00 ～ 13:00	09:00 ～ 12:30	09:00 ～ 12:30	09:00 ～ 13:00	—
14:00 ～ 18:00	14:00 ～ 18:00	—	14:00 ～ 18:00	14:00 ～ 18:00	—	—
18:00 ～ 19:00	18:00 ～ 19:00	—	—	—	—	—

にしの内科クリニック 循環器・心臓内科

至筆山
トンネル
業務用スーパー



図書室便り (2010年12月受入分)

- ・ AANA Advanced Arthroscopy The FOOT and ANKLE / Annunziato Amendola (他編集)
- ・ AANA Advanced Arthroscopy The KNEE / Robert E.Hunrter (他編集)
- ・ AANA Advanced Arthroscopy The SHOULDER / Richard L.Angelo (他編集)
- ・ Green's OPERATIVE HAND SURGERY SIXTH EDITION Vol.1,2 / Scott W.Wolfe (他編集)
- ・ OPERATIVE TECHNIQUES IN ORTHOPAEDIC SURGERY Vol.1 ~ 4 / Sam W.Wiesel(他編集)
- ・ 看護必要度 看護サービスの新たな評価基準第4版 / 岩澤和子 (他監修)
- ・ 実践 妊娠と薬第2版 10,000例の相談事例とその情報 / 林昌洋 (他編集)
- ・ カラー ダイナミック病理学-365 症例からのアプローチ / 鈴木利光 (他監修)
- ・ 免疫染色至適条件決定法 / 鴨志田伸吾
- ・ 静脈経腸栄養年鑑 2008 / 石渡一夫 (編集)
- ・ 看護師のための「医療材料」の事故防止・安全管理のポイント / 武藤正樹 《寄贈本》
- ・ 細胞工学 別冊 がん転移 臨床と研究の羅針盤 / 丸義朗 (監修)
- ・ 病診連携 / 中村真巳
- ・ 崖っぷちの医療 / 船曳孝彦
- ・ 現代版「赤ひげ」 志願！〈肝・胆・膵がん〉の完全切除をめざして / 木村理
- ・ 天を敬い人を愛し 医に生きる / 塩崎均
- ・ 上野原町立病院物語 / 江口英雄
- ・ 悠飛社文章講座 新虎の巻改訂版 書き下ろし作家への最短コース / 宇治芳雄 (責任編集)
- 《別冊・増刊号》
- ・ 別冊 NHK きょうの健康 肺の生活習慣病 COPD / 木田厚瑞 (総監修)
- ・ Nursing BUSINESS 2010年冬季増刊 わかる・使える 看護マーケティング超入門 スタッフが集まる！患者が増える！ / 塚崎朝子 (他監修)
- 《視聴覚資料》
- ・ VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.17 No2 / 永田 泉 (他企画・監修)
- ・ DVD版 アティテューディナル・ヒーリング入門 ワークショップ 怖れを手放す / 水島広子 (ファシリテーター)

編集室通信

1月20日は大寒、今年初の満月は実に存在感があった。大きくても重たくない白い月が東の空に冴えていた。月といえば秋だが、冴えわたる月はやはり冬である。次の日の朝、西の空にぽっかりと冴えた月が浮かんでいた。毎月『ひろっぱ』の編集やレイアウトの締め切りに追われるこの頃になると、文字を追うよりも自然の方に目が向いて仕方がない。霖

近森会グループ	
外来患者数	18,242人
新入院患者数	767人
退院患者数	826人
近森病院	
平均在院日数	15.22日
地域医療支援病院紹介率	89.20%
救急車搬入件数	488件
うち入院件数	245件
手術件数	371件
うち手術室実施	241件
→うち全身麻酔件数	149件

2010年12月の診療数

企画情報室